

2010.8.21 バレエスタジオ*A i l e* 第2回発表会

～*Dream*～

第3部

*Summer Dream* ～未来への協奏曲～

作品解説



プロローグ  
第1章・情熱の都  
第2章・希望の街  
第3章・初恋の小路  
第4章・追憶の丘  
第5章・嵐の谷  
第6章・ひまわりの海へ  
エピローグ



## プロローグ

情熱の、赤。

希望の、オレンジ。

初恋の、ピンク。

追憶の、緑。

嵐の後の光の、黄色。

幕が上がると、そこには5色の個性をまとった少女たちとそれを誘う者たちが、一同に会します。

少女たちが身につけるのは、練習用の真っ白なボンチュチュ。

そう、彼女たちは夢の途中の道を歩いているのです。

自分が憧れる、バレエへの道。

それは自分自身が進みたい道。

「私が踊りたいバレエは、どんなもの？」

そんな少女たちの心の声が聞こえてくるような、儂くそして力強い物語。

まだ、何にも染まっていない、純白。

そこにひとはけの個性の色をふわりとまとい、彼女たちは佇んでいます。

少女たちを誘う者は、ときに風であり、ときに光であり、そしてときに花たち。

それぞれの想いを、運び、夢から現実へと導いてゆくのです。

ここから舞台上に描かれるのは、彼女たちの心象風景。

オムニバスで進む、少女たちの心を描いた物語。

それは、既存のバレエにはない、新しい香りと彩りに包まれています。

表現するのは…「自分自身」。

## 【第1章】 情熱の都

・花市場

・情熱～憧れのエスメラルダ

どうしても、踊りたい踊りがある。

その踊りを踊ること。

それは、叶えたい夢。

熱くたぎる少女の想いは、憧れの踊りへの想い。

彼女がどうしても踊りたかったもの、それは「エスメラルダ」

第1章、テーマカラーは「赤」。

---

スペインの香りが漂う都。

花市場。

どこからかアコーディオンの音色が風に乗って聴こえてくる。

目に鮮やかな花々たちが、私を誘うように、揺れている。

軽快なリズム。

手拍子。

いつしか、私はその光景に目を奪われていた。

何かを忘れていた。

いつの間にか、どこかへ置き去りにしてきてしまった。

私の踊りへの夢。

今、はっきりと思い出した。

そうだ、私には踊りたい踊りがあったんだ。

心の片隅にギュッと閉じ込めて、カギをかけていたけれど

もう閉じ込めておく必要なんて、ない。

憧れの踊り。

私の魂が、今、それを踊る。

----

## 【第2章】 希望の街

- ・蝶たちの誘い
- ・希望～踊りへの夢

踊るのが好き。  
いつも楽しく踊りたい。  
ワクワクするようなリズム。  
心が躍る。身体が踊る。

バレエに懸ける想いが、今、溢れだす。

第2章、テーマカラーは「オレンジ」

---

ふんわりと空を舞う蝶々。  
空気と戯れるように、軽やかに空をゆく。

あ、可愛い。  
子どもを思い出して、懐かしく、そっとそのあとを追ってみた。

そのとき。  
胸の中に響いたメロディー。  
いつか踊った、あの曲。

これは...くるみ割り人形？  
おもちゃの兵隊に、雪の女王、金平糖、そしてクララ。

バレエが描く夢の世界。  
私は、そんな柔らかな世界が好きなんだ。

まだ踊ったことのない踊り。  
いつか踊った懐かしい踊り。  
どれも大切な宝物。

そしてきっと、未来のくるみ割り人形は  
まだ誰も知らない素敵な夢の世界。  
たくさんの夢と希望にあふれているはず...

---

### 【第3章】 初恋の小路

- ・カナリアの歌声に
- ・初恋～ジゼルの想い

好きな人が、います。

その人のことを想うだけで、胸が切なく苦しくなるのです。

でもとても温かく柔らかな気持ちに包まれます。

恋、とはこういうものでしょうか。

...そんな想いでジゼルが恋した相手は身分を隠したアルブレヒト。

真実を知ったジゼルは、狂気のうちにこときれてしまいます。

時として人を死にもおいやる恋の力とは、なんと強大なものなのでしょう。

恋の入口、初恋。

初恋の小路を、少女が歩き始めます。

第3章、テーマカラーは「**ピンク**」。

---

歌うような、カナリアの声。

まるで鈴の音を響かせたような、優しい音色が耳に届く。

言葉にならない声で、恋を告げているのだろうか。

それとも届かぬ思いの切なさを、歌っているのだろうか。

私は、その声に誘われた。

気がつくと、カナリアの声に囲まれて暗闇から

立ちあがっていた。

ジゼルが抱いた想い。

その恋の気持ちを、踊ってみたい。

きっと今なら、わかると思うから。

そう、きっとカナリアが告げていたのは、あの人への想い。

---

## 【第4章】 追憶の丘

・光の妖精

・追憶～あの日の思い出

懐かしく切ない思い出。それはもう過去のこと。  
過ぎ去ったあの日は還ってこないけれど、  
ここから歩きだす未来は、きっと輝きに満ちている。

「今まで、誰も観たことのないバレエを踊りたい。そして自分の違う一面を出してみたい。」  
そう力強く告げた彼女が踊る、自分自身の追憶。

第4章、テーマカラーは「グリーン」

---

弾ける、光。キラリ、またキラリと弾むような輝きを放つ。

私を誘う光の妖精。  
明るい輝きが、やがて鈍い光へと変わってゆく。

どうして...?  
明るく楽しい笑顔の隙間に、沈んだ悲しみの色を見せるの？

あの場所へ、もう一度行ってみよう。思い出の、あの場所へ。  
光が手招きする。私は、歩みを進める。

思い出の地へ、やってきた。ここから全ては始まったから。温かいイスのあった、この場所から。

思い出すだけで、胸が詰まる。息をするのも、忘れる。

でも思い出にすがっては、生きられない。  
一人で歩いて、決めたんだ。  
だけど、揺らぐ。戻りたいよ...。おかえりって、言ってくれそうな気がするから。

思い出達が、私に絡みつく。切ない想いを、振りほどく。

自分で決めたことだから。一人で歩いて、決めたから。  
私は、自分を信じて進む。  
切ない思い出を、胸にしまい込んで。

---

## 【第5章】 嵐の谷

- ・光は闇の中に
- ・そして、道は...

心の谷間。深く沈みこんだ感情。抜け出せない迷路のように、不安がつきまとう。  
誰しも抱える、苦悩と悲しみ。そしてほんの少しの憤り。  
心に吹き荒れる嵐から、抜け出すことはできるのか....。

テーマカラーは闇を表すグレー、そしてその先の光の色「黄色」

---

雨が、降っている。激しく雨が、降っている。  
辺りは、闇。  
私には、見えない。光が、見えない。闇が迫る。闇がつきまとう。  
右手で力強く振り払っても、闇は私の前に立ちふさがる。  
雨は相変わらず、止まない。

微かに見える一筋の光。ああ、あそこへ行きたい。  
けれど光のしっぽはスルリと私の手を抜けて、また闇の中へとかき消されてゆく。  
掴みたい。掴めない。どこへゆけば、この闇は晴れるの...？  
見えない網に捕らえられた白鳥のように、もがき、羽ばたけども、ここから逃れることはできない。  
だから、覚悟を決めた。この闇の中で、生きようと。

そして、天（そら）を見上げる。  
そうか、降っていたのは私の涙だったのか。光は自分の心の中にあったんだ。  
暗闇で見つけた、光射す道。闇があるからこそ、光は輝く。

\*

やがて、あたりに一陣の風が吹く。

黄昏の風たちは、少し湿り気を帯びた空気を包みながら、夕暮れの中を進む。  
しっとり腕に絡む、ほんの少しだけ熱を帯びた風。  
嵐の余韻を残しながら、風が通り過ぎたあとに、少女たちの奏でる未来が、待っている。

風たちはその道標。未来への道は、風たちが知っている....。

---

## 【第6章】 ひまわりの海へ

---

私の夢、私たちの夢。  
踊りへの想い。

胸の内に秘めた、祈りにも似た小さな夢のカケラたちは、  
情熱の都を抜け、希望の街を通り、初恋の小路を歩み、追憶の丘を登る。  
そして、嵐の谷を通り過ぎたあと、どこからともなく吹いてきた黄昏の風たちに誘われるように、  
その想いが溢れだす。

そこは、ひまわりの海。  
波のようにさざめき立つ、ひまわり。太陽にその顔を向け、凜としたたたずまいを見せる。  
風になびくその姿は、まるで金色の海。  
何物にも背くことのないような、まっすぐとした潔さ。  
強さ。そしてしなやかさ。その姿は、私たちの憧れ。

いつか、成し遂げたい希望。いつか、叶えたい想い。  
それは「夢～Dream」

その「夢」に向かって、顔を上げ、進んで行きたい。  
太陽に向かう、このひまわりのように。  
迷うこともあるけれど、つまづくことだってあるけれど、あきらめない限り、きっと夢は叶うから。

\*

## エピローグ

花に誘われ、蝶とともに舞う。  
カナリアの歌声に乗って、光に導かれ、そして風に連れられてやって来たのは、遙かなる未来。  
少女たちの心の音色は、響き合い、静かにそして力強く共鳴する。  
奏でられる協奏曲。想いが響く。

真っ白な夢は、いつしか鮮やかな色彩へと変わり  
心に秘めていた温かな想いを身にまとい、それぞれの心が、今、ひとつになる。  
やがて、あたりは紅に染まり、  
ひそやかに暮れゆく夏の夢。

情熱の花、ひまわりに託した祈りは、天へ....。

この小冊子の内容は

『「バレエスタジオA i l e」主宰：阿部純子のブログ～バレエを思考する～』

から引用し、加筆・修正をしたものです。

ブログ URL : <http://balletstudioaile.blog86.fc2.com/>

「バレエスタジオ Aile」オフィシャルサイトはこちらから

<http://www.balletstudio-aile.com/>

